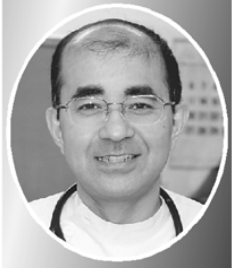


生活と病気

感染性胃腸炎

内科 松永 伸一 (医師)



この冬、感染性胃腸炎が猛威をふるっています。下痢や嘔吐を引き起こす感染性胃腸炎の代表である食中毒については、皆さんご存知のことと思います。夏場によく流行し、その原因の多くは細菌感染によるものです。

一方、冬場にも下痢、嘔吐を伴う感染性胃腸炎が流行します。よく「お腹にくる風邪」「冬の風邪」といわれたりしています。06年は11月以降、患者数が急増しています。まだまだ増加する勢いで、大流行しそうです。

この冬場に流行する感染性胃腸炎の原因は、多くがウイルスによる感染です。特にノロウイルスがよく知られています。このノロウイルスは牡蠣などの2枚貝に寄生しています。それを食べることで感染します。牡蠣にあたったというのは、このウイルスによる感染です。

飛散ウイルス 吸い込んで

しかし、牡蠣を食べないからといって感染しないわけではありません。人を介して感染する場合もあります。ウイルスが手などに付いて口から感染したり、吐物や糞便から飛散したウイルスを吸い込んで感染する場合があります。

最近報道されましたが、都内のホテルでノロウイルスによる300人以上の集団感染が発生しました。食べ物から感染したのではなく、患者さんの嘔吐物からウイルスが乾燥して空中に浮遊し、それが人の口に入って感染した可能性があるといわれています。

潜伏期間は1〜2日です。突然発症する下痢と嘔吐が主な症状で、そのほか、発熱(38℃以下)、腹痛、頭痛などの症状がみられます。

一般的には数日で症状は軽快しますが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は重症化する場合があります。

治療の中心は、点滴や嘔吐のある人は調理をしないこと、まな板、布巾、包みなどの熱湯消毒も行うと良いでしょう。

季節の草木



「菜の花」

代々木病院本館南側の歩道に「菜の花」が咲きました。オータムボエムという品種でした。過去形にしたのは、ルーコラ(ロケットサラダ)や小松菜、カラシナといった菜の花の仲間がすぐそばに育っていたので、雑種化しているのだからです。

総務課・今野康夫

認知症 R65

「なぜアルツハイマー認知症はおきるのか。」という問いには、多くの研究者によりその答えがもたらされてきました。



神経細胞の死滅

脳には特有の神経細胞の変化がおきます。この傾向には「遺伝子」が一定の役割をはたしているといわれてきました。ダウン症という染色体異常による知的発達障害では、40歳の死後の脳に同じ分だけ成長する「死

胞の変化がおきます。この傾向には「遺伝子」が一定の役割をはたしているといわれてきました。ダウン症という染色体異常による知的発達障害では、40歳の死後の脳に同じ分だけ成長する「死

して病理変化を作ることとを意味している。「楽しいなくなる」脳の器質変化の原因は、これから見つかって、可能性はあります。でも、「楽しい」っているうちは大丈夫といえるのです。

何歳になっても高齢者が「存在する場所」を自ら納得して選んで、その時点で、自分を「人として認めてくれる人」とともに生きることを望むのは、人間の存在として当然のことなのです。

精神科医師・岩田 俊

くすりの話 あれこれ 23

インフルエンザの症状

インフルエンザは急激に発病し、強い悪寒、39〜40℃の高熱、関節痛、筋肉痛、強い全身の疼痛が現われ、その後鼻や喉の症状が出ます。普通の風邪では鼻や喉の症状が主で、症状も徐々に出てきます。



治療より予防を インフルエンザワクチン

インフルエンザにかかると困る受験生、呼吸器系の病気を持っている人や体力の弱っている高齢者、多くの人

と接する機会が多い人や、必要に応じて治療するより、ワクチンの接種をしてはどうでしょう。

インフルエンザワクチンは、効果が現れるまでに通常2週間程度かかり、約5カ月間その効果が持続します。

インフルエンザにご注意

谷本昌義 (たくみ外苑薬局・薬剤師)

特効薬タミフルの副作用

運悪く罹ってしまったとしても通常は自然に回復します。しかし、少しでも早く治したい人や症状の重い人、体力に問題のある人はタミフルを使用することが多いです。しかし、タミフル服用後に呼吸抑制や異常行動による事故が発生して

注意すべき点

異常行動(おびえ、恐怖の表情、突然大声で歌い出す。うわごとを言う。理由なく怒りに回復します。泣き出す、ニヤリと笑う。幻視・幻覚の表現など)がタミフル服用に関係なく10%程度の患者に見られたと報告されています。できるかぎり発熱初日、2日目に患者を一人にしないようにしてください。



また、他人にうつさないように症状がよくなっても3日ほどはきちんとマスクをするようにしてください。